

経営比較分析表（平成29年度決算）

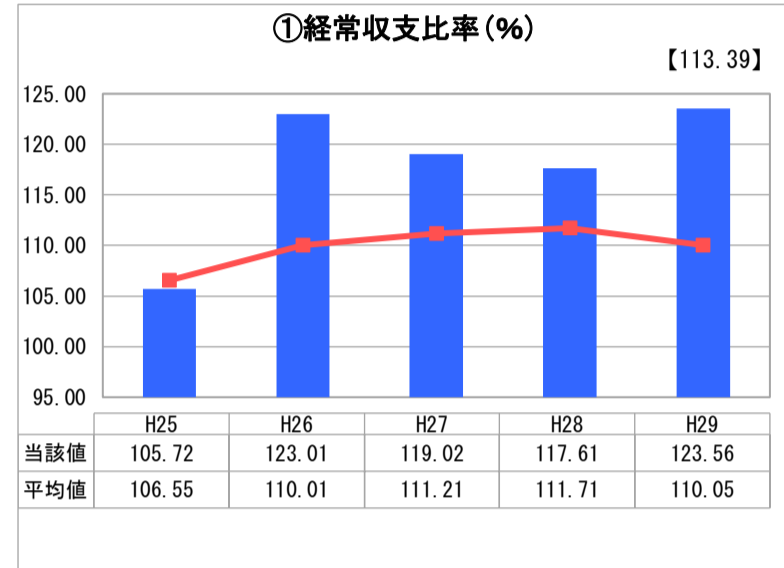
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	60.32	99.51	2,214	

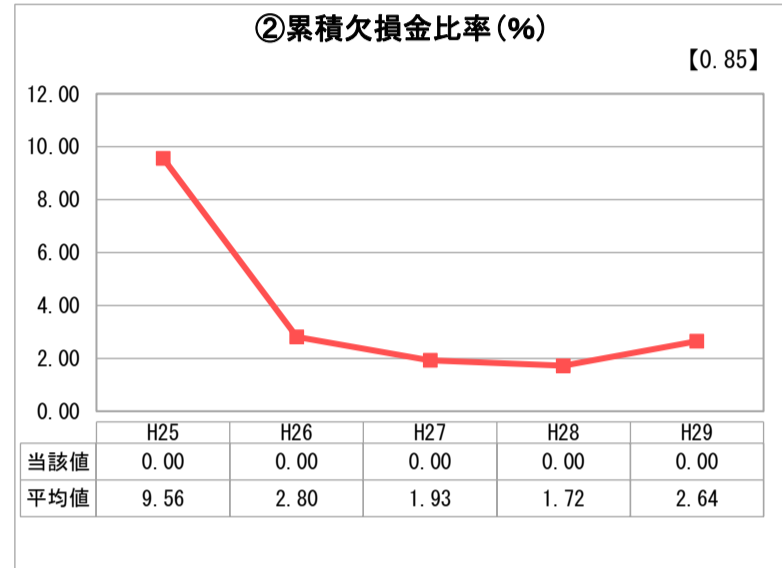
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,779	94.43	198.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,569	76.60	242.42

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

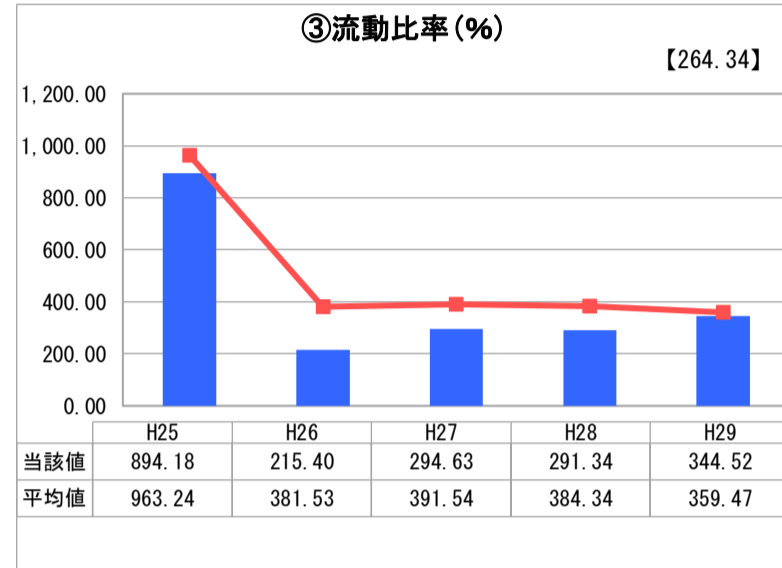
1. 経営の健全性・効率性



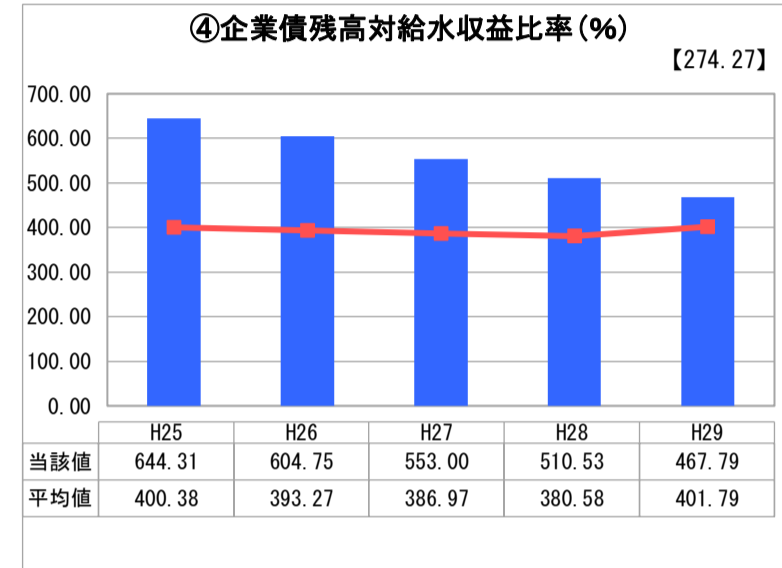
「経常損益」



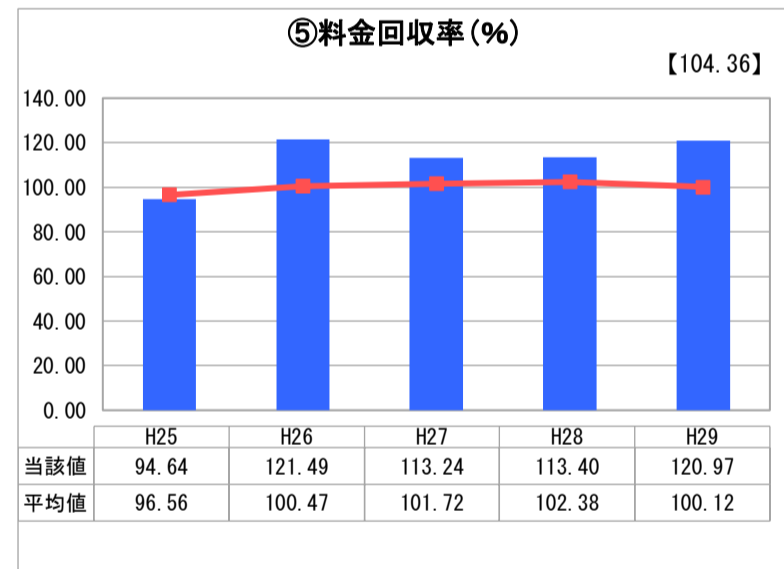
「累積欠損」



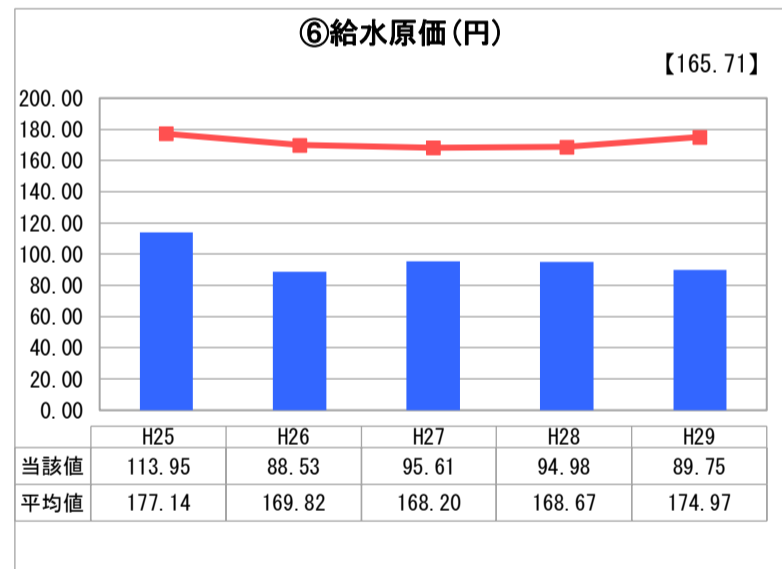
「支払能力」



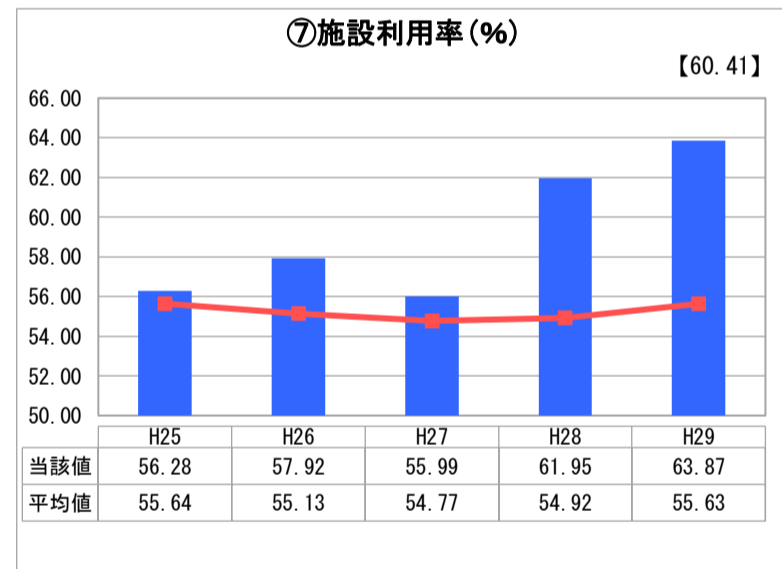
「債務残高」



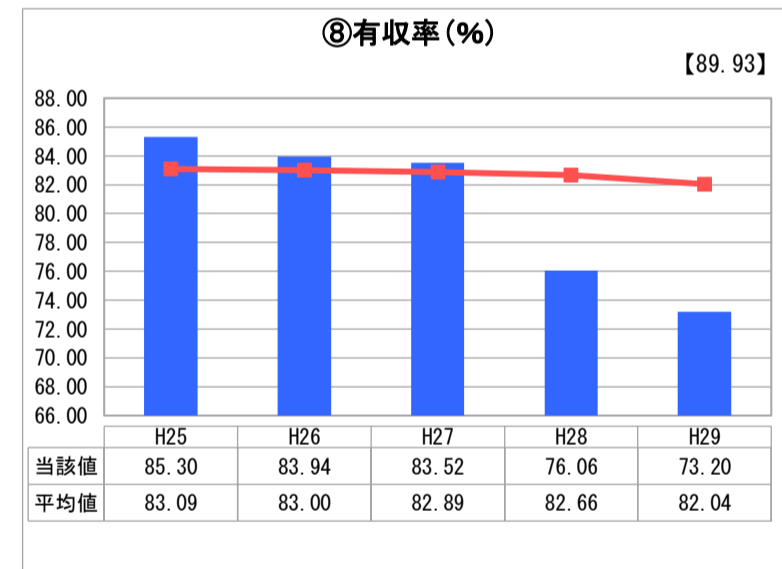
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

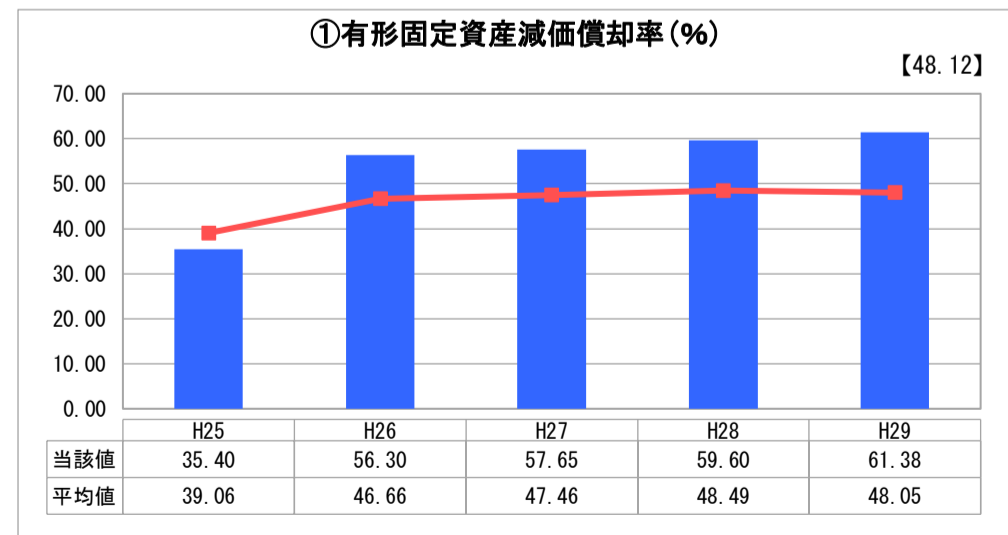


「施設の効率性」

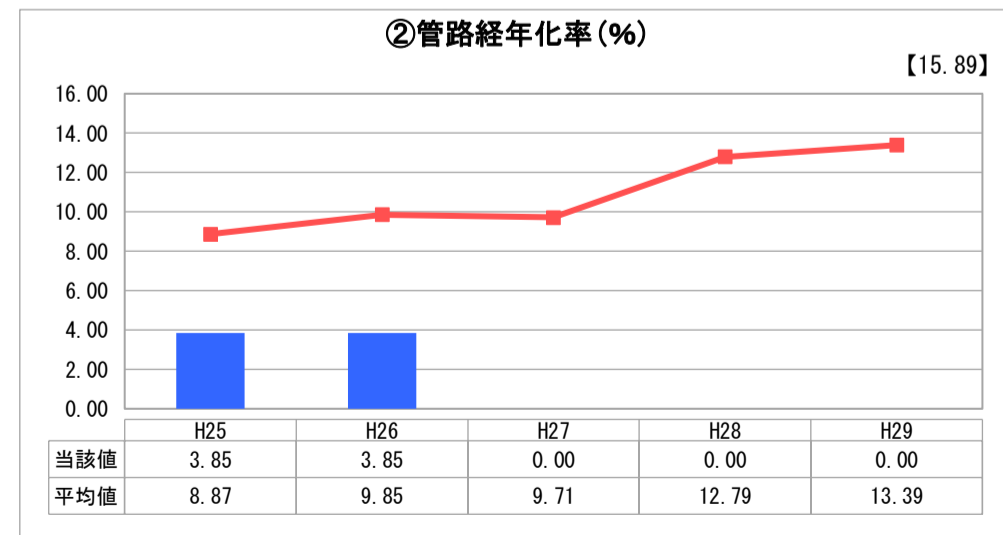


「供給した配水量の効率性」

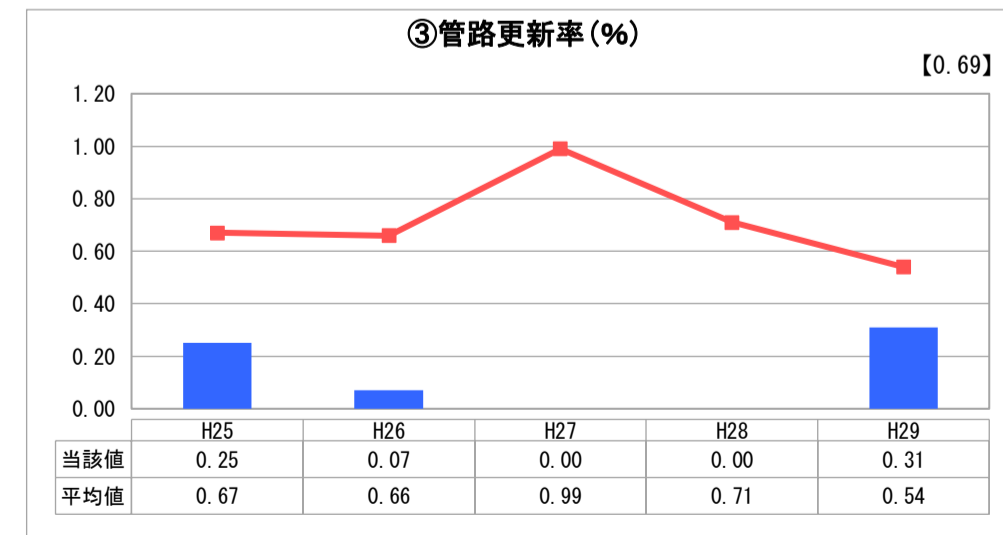
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%以上であり、純利益も前年度に比べて増加している。計画的な施設修繕をおこなうことで、収支の平準化を図っていく。

② 流動比率は100%以上であり、短期的な債務の支払能力を備えているといえる。

③ 企業債残高対給水収益比率は、簡易水道統合により簡易水道事業債を引き継いだこともあり類似団体平均値を上回っているが、既往債の償還により低下傾向が続く見込みである。

④ 料金回収率は100%を上回っているが、今後は給水人口の減少も予想されることから、将来の施設更新需要を見据えた料金水準の見直し等について検討を進めていく必要がある。

⑤ 給水原価は、類似団体平均よりもかなり低くなっている。これは、原水の水質が良好であることから大規模な浄水場を持たないことが要因である。今後も修繕費用の平準化などにより単価変動の抑制を図っていく。

⑥ 施設利用率は、近年大きく上昇しているが、給水量にはあまり変動がなく、漏水が影響している。

⑦ 有収率は、低下傾向にある。給水管の破損による漏水が増加しているためであり、計画的に漏水調査・修繕を実施していく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産原価償却率は、電気・機械設備が耐用年数に近づいており、類維持団体平均を上回る傾向が続く。アセットマネジメント調査を基に、将来における更新等の財源確保や経営に与える影響について分析を行い、必要に応じて投資計画等の見直しを行う必要がある。

② 管路経年化率は、法定耐用年数を越えた管路がなく、数値は計上されていない。

③ 管路更新率は、公共事業に起因した配水管布設替えがあったことにより計上されたものである。

全体総括

現在の経営状況は良好な状態である。しかし、今後は人口減少到来による収益の減少や電気・機械設備を中心とした施設更新事業により経営が圧迫されることも懸念される。このため、水道施設の中長期的な更新費用について把握した上で経営戦略を策定し、料金水準の見直しによる収益の確保、維持管理費用の削減等の改革施策を行い、経営改善を図っていく必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。